

# あいのり

---

## Monthly

2025.12.30



PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT



# 新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は当社の事業運営に深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。新しい一年が、皆さまにとりまして健康と成功に満ちた年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

昨年は4月に米関税政策による大きな市場変動があったものの、世界的には株式市場が堅調に推移しましたが、ボラティリティの高い一年となりました。その中で、資産を守り育てることを目標とする当社ファンドは、おかげさまで価格変動を抑えながら、年末には基準価額の最高値を繰り返し更新するなど、良好なパフォーマンスを残すことができました。

一方で、新年を展望すると、政治・経済両面で先行きの見通しが難しく、不確実性が高まっています。ただ、この“不確実性の高さ”そのものが、もはや常態化しているとも言える状況です。

こうした環境下で新しい一年をどう乗り切るべきかを考えていた折、先月宿泊したホテルの部屋に置かれていた一冊の本の中に、示唆に富む一節がありました。以下に引用いたします。(注)

「ある夜、祖父が孫に、人の心の中で起こる“内なる戦い”について語りました。『いいかい、私たちの心には二匹のオオカミが住んでいて、いつも争っている。一匹は“恐れ”だ。不安や心配、迷い、動けなくなるような感情を連れてくる。もう一匹は“信じる力”だ。落ち着きや確信、自信、情熱、そして行動する勇気をもたらしてくれる。』孫はしばらく考え、そっと尋ねました。『どちらのオオカミが勝つの?』老人は静かに答えました。『お前が餌を与えた方だよ。』」

先行きが見通しにくい市場を前にすると、投資の成果は外部環境に左右されてしまうと考えがちです。しかし実際には、どちらのオオカミに自らが餌を与えるかという、日々の選択の積み重ねが結果を左右するのではないのでしょうか。

パリミキアセットマネジメントは、外部環境がどう変化しようとも、「世界でいちばんお客様を幸せにするファンドでありたい」という目的をスタッフ一同でしっかり共有し、その目的を達成するための優先順位を明確にし、それを信じて行動することで、“あいのり仲間”の皆様に貢献してまいります。

本年も変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

(注) Gary Keller『The One Thing』より引用。日本語は筆者訳。

代表取締役社長 富田 秀夫





## 12月のマーケット概要

12月は政府機関の閉鎖が終了し、経済主要指標の発表が再開されました。米雇用統計は、非農業部門雇用者数は予想を上回り6.4万人増加となったものの、失業率は、4.6%と2021年9月以来の悪化となり引き続き米雇用市場は緩んだ状態であるといえます。また米消費者物価指数（CPI）も、総合で2.7%、コアでも2.6%と予想3%台を大幅に下回りインフレ懸念が一掃された感があります。ただし、これらのデータ自体は政府閉鎖が1か月以上継続していた影響で、例えばCPIなどは約3割を占める家賃のデータが過去のデータを引き継いでいるなど、信憑性が高いものではないことが判明しました。そのためマーケットは今後、信頼性の高い分析可能なデータを探すこととなります。

米FOMCでは、マーケットの想定通り、FF金利を3.5~3.75%へ0.25%引き下げましたが、ドットチャート（FOMC参加者による政策金利見通し）でも2026年末まであと1回の利下げにとどまっている通り、今後の追加利下げについては慎重のスタンスを貫きました。また今回は、T-Billの400億ドル購入実施を発表しました。これは量的緩和（QE）ではなく、準備預金の水準確保を目的とするもので、あくまでも短期資金の流動性提供を意図するものでした。

日銀金融政策決定会合では、無担保コールレート（オーバーナイト物）誘導目標を0.5%から0.75%へ、0.25%引き上げました。同年1月以来11か月ぶりの引き上げで、30年ぶりの高水準となります。植田総裁の会見では、経済・物価見通しの実現確度が高まれば、引き続き政策金利の引き上げを示唆しています。マーケットの注目は中立金利（景気や物価に影響を与えない実質金利）に関する発言でしたが、今回具体的な数値水準を明示せず、現推計値（+1.0%~+2.5%）の下限まで距離があると述べるにとどまりました。

米国が政策金利を引き下げ一方、日本の政策金利を引き上げ、結果、日米金利差が縮小し、教科書的にはドル安円高に推移しても良いものの、直後の反応はドル高円安でした。これは、既に双方の金融政策の方向は織り込んでおり、植田総裁による中立金利水準の引き上げに備えていたところ、市場参加者の失望から円安に反応したものと考えられます。ただし、米国経済次第ですが、将来的には円高へ向かうリスクは引き続き存在すると考えています。

12月は、マーケットが確認しなかった経済データが信頼性に乏しく先延ばしになったため、1月以降は、雇用を中心とする経済データの発表に、より注目が集まると考えられます。

弊社ファンドは、引き続き慎重スタンスは変わらないものの、短期的視点から、ETFを中心に少しずつ欧州、新興国、日本、米国の割合を追加し、キャッシュ比率は低下しました。

(2026年1月7日)



上記のQRコードよりXアカウントにアクセスいただけます。  
パリミキアセットマネジメント【公式】  
@PM\_Asset

パリミキアセットマネジメント  
ファンドマネージャー  
宇野 隆一郎





# 2026 年 相場の見通し

(2026.1.5)

—昨年と今年のあいり Monthly に引き続き、今年も年末の見通しを予想してみようと思います。

2024 年 相場の見通し：

[https://pmam.co.jp/assets/2024/01/20231229\\_ainori\\_monthly.pdf.pdf](https://pmam.co.jp/assets/2024/01/20231229_ainori_monthly.pdf.pdf)

2025 年 相場の見通し：

[https://pmam.co.jp/assets/2025/01/a20241230\\_ainori\\_monthly\\_compressed.pdf](https://pmam.co.jp/assets/2025/01/a20241230_ainori_monthly_compressed.pdf)

なお、本見通しは現時点でのメインシナリオですので、今後発生する事象により随時見方を変更していきます。したがって、ファンドの運用に直接影響を及ぼすものではないことをご認識いただければと思います。結論をまとめると以下の通りです。

- ・ S&P500 (米国)： 6,950p (2025 年末終値比 ±0%)
  - ・ 日経平均 (日本)： 55,400 円 (同 +10%)
- ※ただし、両指数とも、年間で上下±10~15%の変動を想定。

## ■ 米国株【S&P500：6,950p（2025 年末終値比 ±0%）】の根拠

**上昇するプラス根拠 (\*1)** は様々ですが、年後半にかけては二極化経済からの雇用悪化、経済の後退、米国信用不安、米ドル信認の低下による長期金利上昇（あるいは期待ほど下がらない）の可能性があると考えます。

### (\*1) 米国株のプラス根拠

- ・ 米国経済は強く、IMF によると今年も 2.1%の GDP 成長率を見込んでいること。
- ・ 今年の企業業績は、アナリストの予想 EPS (1 株当たりの利益) で、+14.3%と加速が見込まれていること。(ボトムアップ方式)
- ・ FRB の利下げが見込まれていること。(現時点でのマーケット見通しでは年 2 回)
- ・ 昨年成立の OBBB (One, Big Beautiful Bill 減税・歳出削減法案) での減税、規制緩和、節税効果が、本年から見込まれること。
- ・ 生成 AI によるテクノロジー改革によって、企業効率化がさらに進むこと。
- ・ 生成 AI の設備投資意欲が引き続き強いこと。
- ・ 通貨供給量 (M2) が増加していること。(即ち、お金がじゃぶじゃぶの状態)
- ・ MMF (株式を購入出来る待機資金) が、7.5 兆ドルまで拡大していること。

上記は大方すでに織り込まれている可能性があります。

一方で以下の点が、今後ネガティブに働く可能性があると考えています。

### 米国株のマイナス根拠

- ・ 失業率が上昇 (悪化) トレンドにあり、今後急速に上昇する可能性があること。
- ・ 格差の拡大により、保有資産の価値が上がり国民の上位半分は資産効果により潤っていても、残りの半分は、金利高やインフレが低下しきれないために生活が困窮し、経済の減速、景気後退を示唆

する指標が出始める可能性があること。

- ・FRB 議長が交代する 5 月以降、インフレが収まりきらないうちの政策金利の引き下げは、インフレ率上昇を助長すること。または、財政悪化懸念が拡大するなどの理由で、長期金利が上昇する可能性があること。
- ・ストラテジストがマーケットに対して、非常に楽観的に見ていること。  
(S&P500 の 2026 年末コンセンサスの大方が、10%以上と高い)
- ・現状の PER (株価収益率) が、歴史的に見ても割高な水準 (2026 年予想 EPS で 22 倍) にあること。想定外の事象が起きた場合、大幅下落の理由となること。
- ・中間選挙の年は歴史的に、変動率が高くなる傾向があること。  
(過去 100 年のデータから、中間選挙日までに、高値から 10%以上下落することが多い)

以上の通り色々な材料はありますが、景気後退に繋がるか否かが鍵となります。

## ■ 日本株【日経平均：55,400 円 (同 +10%)】の根拠

次に、日本株についてです。

解散総選挙の有無により大きく変化するものの、根拠は以下の通りです。

- ① 30 年続いたデフレが数年前に終了し、インフレ社会に転換してきた点が基本的な強気のベース。
- ② 特に去年は高市政権が発足し、無駄の少ない積極財政を行うことで、需給ギャップの解消と同時に需要の創出、設備投資、研究開発、生産性の向上による経済の好循環が見られる可能性があること。
- ③ IMF の GDP 成長率が、上方修正される可能性があること。(現状 0.6%)
- ④ コーポレートガバナンス改革がさらに進むこと。
- ⑤ 日本人の投資に対する認識変化がさらに進み、NISA 制度の未成年へも拡充方針など、投資需要が拡大していること。一方で、自社株買いや、MBO (経営陣による買収)・TOB (株式公開買付け)・M&A (合併・買収) などによる非上場化や上場廃止に伴う投資対象株式が減少していること。

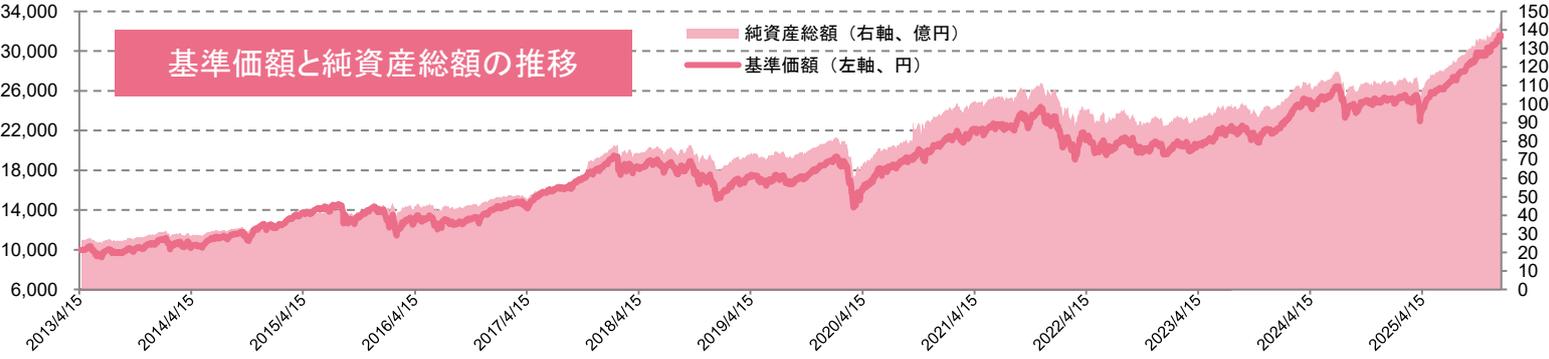
なお、例年 S&P500 (米国株) と日経平均 (日本株) の見通しのみを掲載させていただいていますが、今年については米国株式よりも、日本、新興国・欧州・コモディティなど他の市場がアウトパフォーム (相対的に高い成果を上げる) のではと考えています。



パリミキアセットマネジメント  
ファンドマネージャー  
宇野 隆一郎

コドモファンド  
変幻自在ずーっとおまかせ

基準価額と純資産総額の推移



期間別騰落率(%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
3.05%	8.40%	19.06%	24.82%	24.82%	59.75%	51.67%	124.46%	214.78%
					(複利年率) (16.88%)	(複利年率) (8.68%)	(複利年率) (8.41%)	(複利年率) (9.44%)

コドモファンド概況

基準価額	31,478円	設定日	2013年4月15日
純資産総額	14,318百万円	信託期間	無期限
ボラティリティ(1年)	8.54%	決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)
投資信託財産の構成比率	パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンド: 99.90% 現金等: 0.10% (合計: 100.00%)		

コドモファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬)	年1.10%(税抜1.00%) マザーファンドの組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担: 年1.75±0.5% 程度(税込)
------------------	---

パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンド ※2025年9月1日設定

【12月の運用コメント】

基準価額は月間で+3.15%となり、年初来ではコドモファンドで+24.82%となりました。  
(1年リターン: 24.82%、ボラティリティ(1年): 8.54%、シャープレシオ: 2.82)

個別ファンドの騰落率については、上昇の寄与度が大きかったピクテゴールド(為替ヘッジ付)が騰落率+4.01%、金鉱株式ファンドのコンウェブ・ゴールドが同+16.12%、日本バリュー株式のモーラントが同+3.63%などでした。一方、下落したのはインド株式ファンドのチカラインディアンが騰落率▲0.43%などでした。12月の売買は、ドイツ、日本、米国のETFを中心に追加しました。一方、日本の小型株ファンドを僅かに売却しました。キャッシュ比率は前月より約7%縮小し11.71%でした。

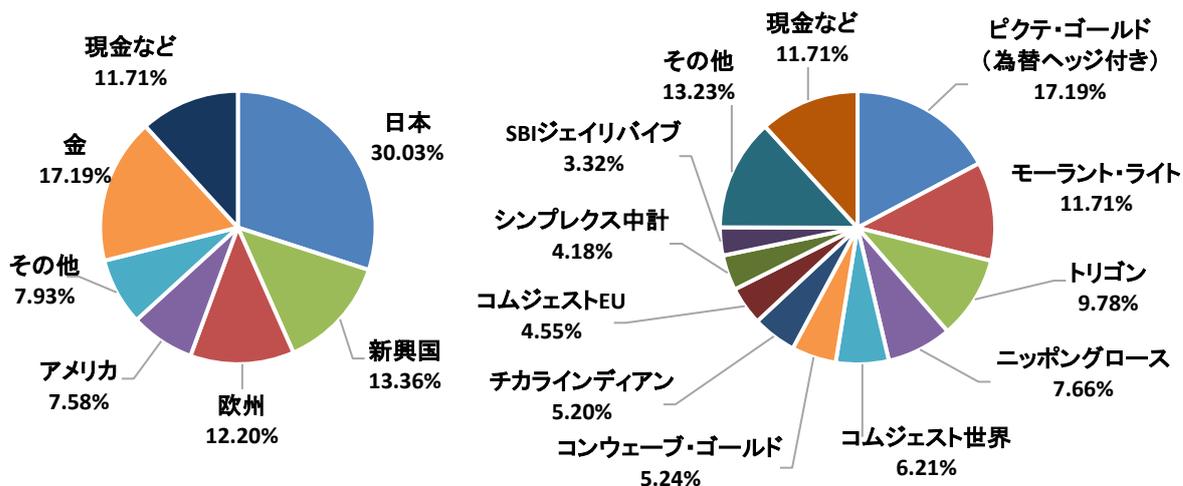
為替が、対ドルでほとんど変化なく(▲0.04%)、対ユーロでは約2.5円(+1.5%)円安へ推移し、ポートフォリオのパフォーマンスを0.25%引き上げたこととなります。

現状の外貨資産リスク(38%)に対する為替ヘッジ率は、6%で、全体のポートフォリオの内、ヘッジ後の外貨リスクは35%です。

パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンドの概況

純資産総額	14,495百万円	組入ファンド数	全19本
-------	-----------	---------	------

資産構成比率(左:国別、右:ファンド別)



組み入れファンドTOP5  
基準価額のの前月比

ピクテ・ゴールド (為替ヘッジ付き)	4.01%
モーラント・ライト	3.63%
トリゴン	5.01%
ニッポングロース	1.72%
コムジスト世界	1.27%

【12月の運用コメント】

基準価額は月間で+3.22%上昇し、年初来で+16.26%となりました。

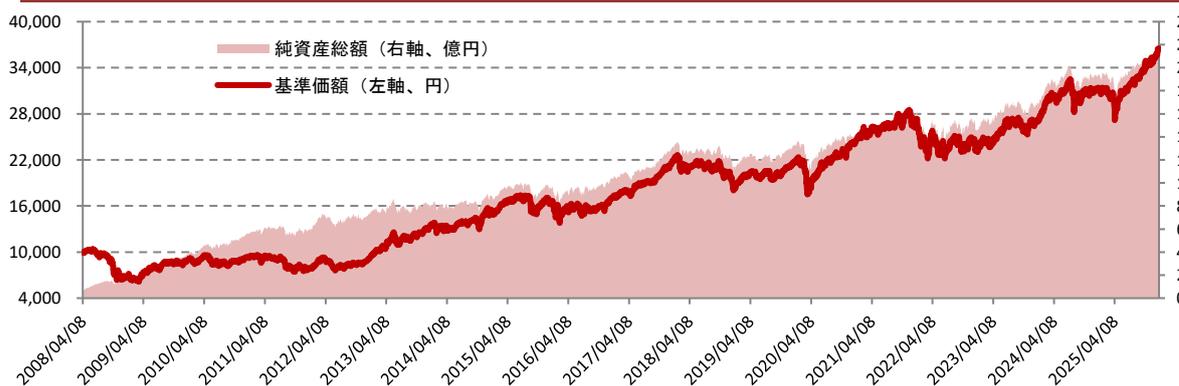
(1年リターン：16.26%、ボラティリティ（1年）：11.15%、シャープレシオ：1.38)

個別ファンドの騰落率について、上昇寄与が高かったのは金鉱株式ファンドのコンウェーブ・ゴールドが騰落率で+16.12%、東欧株式ファンドのトリゴンが同+5.01%、日本株式ファンドのシンプレクス中計が同+2.69%などで、下落した銘柄はインド株式ファンドのチカラインディアンが騰落率▲0.43%のみでした。12月の売買は、日本株式のニッポングロースを新規で購入し、その他ドイツ、米国、日本のETFを追加しました。

一方、日本の中小型株式ファンドを一部売却しました。キャッシュ比率は前月より約10%縮小し、5.51%でした。為替が、対ドルでほとんど変化なく(▲0.04%)、対ユーロでは約2.5円(+1.5%)円安へ推移し、ポートフォリオのパフォーマンスを0.35%引き上げたこととなります。

現状の外貨資産リスク（57%）に対する為替ヘッジ率は0%で、ヘッジ後の外貨リスクは57%です。

基準価額と純資産総額の推移



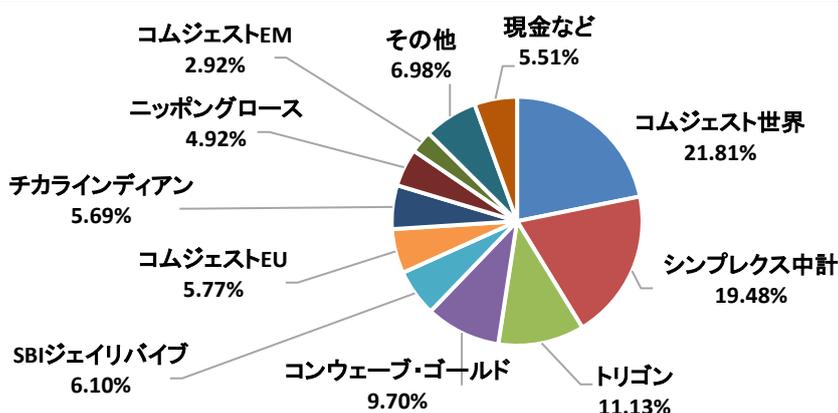
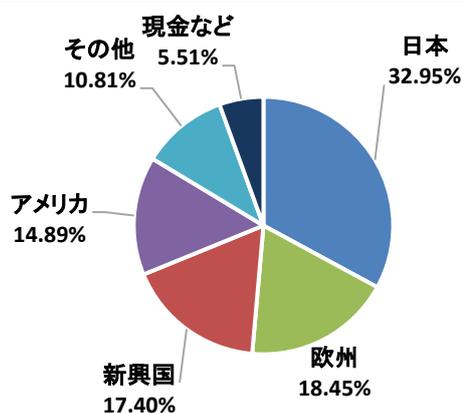
組み入れファンドTOP5  
基準価額の前月比

コムジェスト世界	1.27%
シンプレクス中計	2.69%
トリゴン	5.01%
コンウェーブ・ゴールド	16.12%
SBIジェイリバイブ	2.81%

浪花おふくろファンド概況

基準価額	36,512円	設定日	2008年4月8日
純資産総額	2,193百万円	信託期間	無期限
ボラティリティ(1年)	11.15%	決算日	毎年3月3日 (休業日の場合は翌営業日)

資産構成比率(組入ファンド全13本)(左:国別、右:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
3.22%	8.37%	15.80%	16.26%	16.26%	56.30%	49.47%	119.89%	265.12%
					(複利年率) (16.04%)	(複利年率) (8.37%)	(複利年率) (8.19%)	(複利年率) (7.57%)

浪花おふくろファンドにかかわる費用

運用管理費用  
(信託報酬)

年0.99%(税抜0.90%)

組み入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年1.65±0.5%程度(税込)

コドモファンド・浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売は株式会社パリティアセットマネジメント/金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号  
※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

## 丙午が示す、新しい時代の始まり

今年は丙午の年です。古来より丙午は、非常にエネルギーの強い年と言われてきました。実際に歴史を振り返ってみると、この年が時代の大きな転換点であったことが見えてきます。

### 過去の丙午を振り返ると

60年前の1966年、日本は前年に東京オリンピックを成功させ、その後1970年まで続く「イザナギ景気」と呼ばれる高度経済成長期へと踏み出しました。まさに、日本が経済力で世界の頂点を目指した、その最初の年でした。

さらに60年さかのぼる1906年を見てみると、前年に日露戦争で勝利し、その後第一次世界大戦を経て、1920年には国際連盟の常任理事国となり、日本は列強の仲間入りを果たしていきました。こちらは軍事力で、国際社会での地位を確立していった時代の始まりでした。

このように丙午の年は、それまでとは異なる新しい長期の流れが、はっきりと姿を現す「起点」となってきたことが分かります。「歴史は繰り返さないが、韻を踏む」という言葉がありますが、軍事が力を持つ時代、経済が力を持つ時代と、その中身は変わりながらも、世界は常に次の価値へと移行してきました。

私の父は昭和6年生まれですが、幼少期には「男の子は軍人、女の子は看護婦になるのが当たり前」という時代で、立派な軍人が尊敬を集めていたそうです。戦後になると、勉強して良い学校に入り、良い企業に勤める、いわゆるサラリーマンが当たり前の時代へと移りました。そして、ビジネスで成功し、富を築いた人々が称賛される時代が続いてきました。

### 新しい精神性の時代へ

では、2026年から始まるこれからの時代は、どこへ向かうのでしょうか。再び軍事の時代へ戻るのでしょうか。私はそうは思いません。むしろこれからは、「文化」や「精神性」が、これまで以上に価値を持つ時代になると確信しています。

そうした中で、AIが凄まじいスピードで社会に浸透し始めています。AIの登場は、単なる技術革新ではなく、「人間の本質とは何か」を私たちに問いかけています。感じる力、生きがい、やりがい、そして魂に通じるようなもの——AIには代替できないこれらこそが、人間の価値として改めて注目されていくでしょう。

昨年の野球のワールドシリーズでは、日本人選手が世界の注目を集めました。その評価は、卓越したパフォーマンスだけでなく、野球への向き合い方、自分のためではなく誰かのために全力を尽くす姿勢に向けられていたように思います。

また、茂木健一郎氏の「IKIGAI」という本が海外でベストセラーになっていることも、象徴的な出来事です。私たちにとっては当たり前だった感覚が、いま世界に必要とされ始めているのです。

分断と混乱が続く世界の中で、大きな対立を避け、和を重んじ、安全に暮らせる日本社会を目の当たりにし、多くの外国人観光客がその価値を再認識しています。日本の社会システムや精神文化は、これからの時代において、重要な示唆を与える存在となるでしょう。

### この時代に輝くために

この丙午の年は、経済中心の時代の終わりと、新しい精神性の時代の幕開けが、はっきりと交差する年です。この時代の素晴らしさは、お金や地位が無くても、誰であれ志があれば、大きく可能性を広げることが出来ることです。

これからの時代、誰かのために生きがいとやりがいを持ち、誠実に生きていく。そんな生き方を、皆さまと共に歩んでいけたらと思います。新しい年が、皆さまにとってまっすぐで、実り多き一年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。



(株)パリミキホールディングス  
代表取締役会長  
多根 幹雄



## チームあいのり

### 御朱印巡りの楽しみ



3年前、中学校の同窓会をきっかけに、同級生4人で毎月定期的に「御朱印巡り」を始めました。

神社参拝の証としていただく「御朱印」。その起源は、奈良・平安の昔、社寺に書写した経典を奉納した際に受け取った「納経受取（のうきょううけとり）の書付」にあるといわれています。

「神社に経典を？」と思われるかもしれませんが、その代表例が「平家納経」です。

時の権力者・平清盛が、神道と仏教が融合した宗教文化である「神仏習合」の思想から「厳島神社の御祭神は、十一面観音がお姿を変えたもの」と解釈して奉納したものと伝えられています。こうした納経の習慣は次第に一般へも広がり、やがて納経をせずとも、参拝の証をいただく現在の形へと変化していきました。

鉄道網が整備された明治以降、寺社を巡る旅行とともに集印も盛んになり、昭和10年頃には「御朱印」という呼称が定着したようです。

遠路はるばる足を運び、ようやく叶った参拝。敬神の思いが詰まった御朱印帳は、昔も今も、当時の感動をそのまま保存してくれる、かけがえのない存在といえるでしょう。

さて、昨年（2025年）は干支の『乙巳（きのとみ）』にちなんだ蛇窪神社（東京都品川区）をはじめ、各地の社寺を訪れました。

写真は、蛇窪神社と、巡り歩いた思い出の御朱印（大宮氷川神社）の一部です。美しい意匠を凝らした御朱印に触れるたび、清々しい気持ちで一年を過ごすことができました。



今年は、馬にゆかりのある矢先稻荷神社（東京都台東区）を参拝する予定です。

新しい一年の始まりに、皆さまもご自身の干支や、その年の干支にちなんだ御朱印を探してみたいかがでしょうか？

嶋田 有美

## パリミキアセット2026新年会

講演+懇親会

テーマ：「一周回ってJapan」—Japan is back and Japan is the Origin

講師：パリミキアセットマネジメント取締役 渡邊 格史

〈東京〉

1月23日(金) 18:00~20:00

会場

参加費用等について

パリミキアセットマネジメント 会議室

東京都中央区銀座二丁目8番4号 泰明ビル2F  
(ビル1階はカフェ・ペローチェです)  
(東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」11番出口 徒歩1分)  
(東京メトロ銀座線、丸ノ内線、日比谷線「銀座駅」  
A13番出口 徒歩4分)

定員：25名

参加費：2,000円

〈大阪〉

1月31日(土) 13:00~15:00

会場

参加費用等について

パリミキ アメリカ村店2Fサロン

大阪府大阪市中央区西心斎橋2丁目10番30号  
蔵人西心斎橋ビル2階  
(大阪メトロ「心斎橋駅」7番出口 徒歩5分)

定員：25名

参加費：2,000円

お申込みにつきましては、HPでご案内いたしております

みなさまのおかげで



祝  
運用資産  
200億円突破

日頃より信頼を寄せ、ご投資いただいている  
「あいのり仲間」の皆さまに心より感謝申し上げます。

X公式アカウントのお知らせ

Xで情報発信中！ @PM\_Asset



パリミキアセットマネジメント【公式】  
@PM\_Asset

社長・ファンドマネージャーのつぶやきや、セミナー情報などを発信中です。

災害時やシステムの不具合など、ホームページからのお知らせが難しい緊急時には、Xで最新情報をお知らせいたします。

ぜひ当社公式アカウントのフォローをお願いします！

▼公式アカウント



## 「令和7年分特定口座年間取引報告書」の発送について

「特定口座年間取引報告書」は、特定口座を開設されたお客様へ販売会社が作成・交付するものです。

今回「令和7年分特定口座年間取引報告書」を郵送および電子交付（マイページ）しました。

なお、年間一度もご換金（解約）されなかったお客様については、郵送および電子交付（マイページ）を省略させていただいております。郵送をご希望のお客様は、弊社までお申し付けください。

なお、税制改正に伴い、平成31年（2019年）4月1日以後に確定申告書等を提出する場合、「特定口座年間取引報告書」の添付書類の提出が不要となりました。

## 「取引残高報告書(定期交付)」・「ご投資状況のお知らせ」の発送について

「取引残高報告書(定期交付)」・「ご投資状況のお知らせ」を郵送および電子交付（マイページ）しました。

「取引残高報告書(定期交付)」は四半期毎に作成され、その期間のお取引を記したものです。

今回は2025年10月～12月末までにお取引（売買等）があったお客様および期間中にお取引がなくても残高がある場合には、最後のお取引から1年が経過したお客様が送付・電子交付の対象となっております。

## お客様マイページのご利用について

最近、「取引に関する書類が届いていないな」と感じている方はいませんか？

現在、電子交付サービスをお申込みいただいているお客様（月次レポート等をメールでお受取りいただいている方）は、お客様マイページをご利用いただいております。お取引に関する書類等は、マイページに電子交付され、郵送されませんので、必ずマイページにログインしてご確認ください。

マイページのログイン方法がご不明な場合は、お客様サポートチーム(0800-5000-968)までお問合せください。

### ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

### ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

### 当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は株式会社パリミキアセットマネジメントが運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡しますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料中に示された数値は、作成基準日現在において入手可能なデータを参照し、弊社にて計算しております。

### 毎月つみたてスケジュール

次回引落日は、**2026年2月5日（木）**です。

2026年2月分金額変更・中止・再開締切日…

**1月23日（金）**

2026年3月分新規・口座変更締切日…

**2月3日（火）**

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話・マイページ上（再開を除く）でも承っております。

再開につきましては、書類でのお手続きとなりますので、お電話・マイページ上・ホームページ上にて用紙をご請求ください。

株式会社パリミキアセットマネジメント  
お客様サポートチーム  
（受付時間：平日9:00～17:00）  
お客様専用通話料無料ダイヤル:0800-5000-968  
E-mail: [support@pmam.co.jp](mailto:support@pmam.co.jp)

